



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

こんな経験ないですか？  
認知症に揺れる社会

「最近おじいさんが時々道に迷って家に帰れんようになった」「近所の人が家に入ってものを盗むと騒ぐ」「さつき昼ご飯を食べたのに昼食はまだかという」「お風呂に入るとのをいやがるようになった」など……  
このような症状があると皆さんは認知症だろうか心配されるのではないのでしょうか。いま、認知症は世界中で大問題となっっています。医療が進歩し、平均寿命が長くなつてみんなが幸せかと思いきや、認知症という

問題が浮かび上がってきました。

認知症とは？  
原因や治療・予防法はあるのか

認知症の70%はアルツハイマー型認知症（アルツハイマー病）です。アルツハイマー病の原因は脳の神経細胞にアミロイドβというたんぱく質が蓄積し、神経細胞が死滅するためと考えられています。なぜこのような物質が作られ、蓄積するのか分かっていません。しかし、生活習慣病（例えば、糖尿病、高血圧、喫煙、飲酒）が悪化因子であることは疫学的に証明されています。  
現在のところ、确实なアルツハイマー病の治療薬や予防薬はありません。進行するスピードを遅くしたり、症状を減らしたりする薬は開発されています。アルツハイマー病の治療

薬を作ればノーベル賞は確実です。世界中の製薬会社、科学者が研究しています。

認知症社会にどう立ち向かう？研究が進む認知症対策最前線

今、确实な治療法はありませんが、アルツハイマー病にならないようにするさまざまな対策も報告されています。すでに述べた悪化因子を減らすこと、有酸素運動や音楽療法、社会参加などなど。しかし、何の症状もなくこれらを一生懸命するのはなかなか難しいものです。  
アルツハイマー病の患者さんでは、脳の海馬傍回という部位の萎縮が最も早く起こります。最近、脳MRIを撮影し、この萎縮を早期に検出できる方法VSRADが考案されました。しかし、まだ新しい検査法なの

で、この方法だけでアルツハイマー病を確定診断することはできませんが、症状が出る前にアルツハイマー病を疑うことができるので、早期に予防を開始できる可能性があります。予防対策は早いほど有効であることが分かっています。また、現在、進行を遅らせる治療薬を予防薬として使用する研究も進んでいます。

日野病院でも脳ドックで認知症検査が可能に。ぜひ一度受診を

ここで、少し日野病院の宣伝です。日

野病院でもVSRADを行うことができます。通常診療ではこれまでも利用していましたが、4月からは脳ドックでもVSRADを行うことにしました（50歳以上の対象）。

4月はキャンペーン期間として脳ドック受診者で希望の方には無料で追加します。キャンペーンを過ぎると脳ドックの料金に追加で2000円（税別）が必要となります。この機会に一度脳ドックを受けてみて下さい。

